

11月
12日(土)

道の駅 阿寒丹頂の里に、新しい「インフォメーションセンター丹頂の里」が移転オープン!



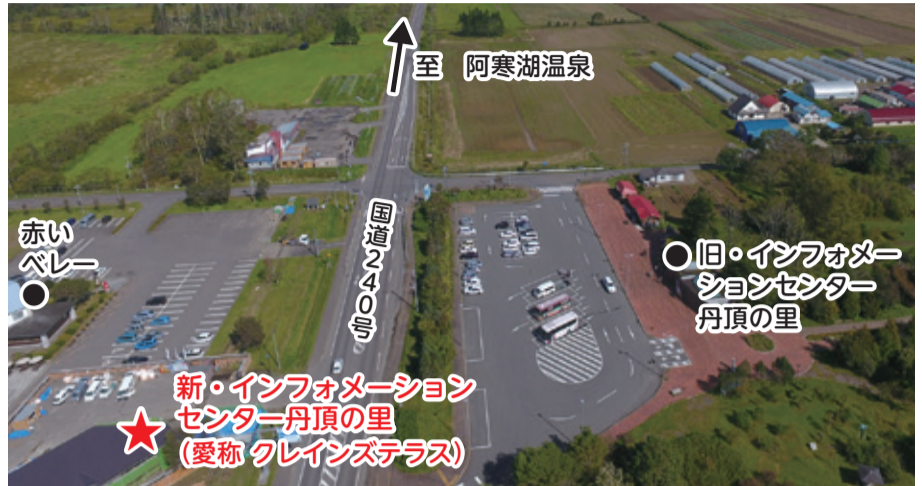
問合せ 阿寒町行政センター地域振興課地域振興担当 (☎66-2122)

「インフォメーションセンター丹頂の里」が、国道240号線を挟んで、向かい(赤いベレー)側に移転します。

施設の名前は「クレインズテラス」(タンチョウが集う憩いの場所)で、建物の一部には釧路産のカラマツ材を使用しています。

道の駅の機能である24時間トイレ、公衆電話、観光案内所の他、特産品販売コーナーがあり、軽食・喫茶のコーナーでは新たにエゾシカバーガー、阿寒ポークホットドックなどを販売します。イベントコーナーや憩いの広場なども設置し、地域の情報を広く発信するだけでなく、利用者の皆さんが楽しめる空間となります。

生まれ変わった「道の駅 阿寒丹頂の里」にぜひお越しください。



住所 釧路市阿寒町上阿寒23-36-1
電話 66-2969
休館日 原則年中無休(※設備点検等による臨時休業の場合あり)
開館時間 5~9月 午前9時~午後6時
10~4月 午前9時~午後5時
観光案内所 午前10時~午後4時



10月1日から路線バスの停留所を赤いベレーの駐車場内に移設しました

問合せ 阿寒バス(株) (☎37-2221 代表)

阿寒バスが赤いベレー温泉入浴券、ツルセンター、湿原美術館の入館料とバス往復(釧路-丹頂の里)のセット券(3,000円)を阿寒バス本社、釧路駅前バスセンターで販売しています。新インフォメーションセンターオープンの日から利用できるお得な券です!この券を利用して「道の駅 阿寒丹頂の里」に遊びに行きましょう。

11月12日(土)・13日(日) オープニング記念イベントを開催します!

●12日(土)のイベント

午前10時 オープニングセレモニー
午前11時 ヒートボイス ライブ
「赤いベレーレストラン鶴」で地元食材メニューを特価提供
午前11時30分 「鹿肉ロースト」無料配布(先着200人)

●「第1回道の駅阿寒丹頂の里うまいもの市」(両日開催)

11月12日(土)午前10時~午後5時
13日(日)午前10時~午後3時
市内4つの漁業協同組合の海産物、釧路・根室管内の農業協同組合の協力による農畜産物、釧路・根室管内の6つの道の駅それぞれで販売している特産品が一堂にそろいます。開催時間の中で、お楽しみ抽選会も実施します。



市立釧路総合病院新棟建設についてお知らせします

問合せ 市立釧路総合病院総務課 (☎41-6121)

市立釧路総合病院は、昭和59年に建設して以来、数度の改修により外観は維持していますが、24時間365日止まることなく稼働しており、施設設備の老朽化が進んでいます。また、面積が狭く最新の大型医療機器の導入が困難な状況であることや、災害拠点病院としての要件を確保すること等、これらさまざまな課題を解消するために平成26年度から新棟建設等事業に着手し、このたび、基本設計(※1)がまとまりましたのでお知らせします。

※1 建築等の設計過程で、条件に合うように基本的な事項を決定し、図面・仕様を作製すること。



外観イメージ



救命救急病床イメージ

ハイブリッド手術室(※2)イメージ

新病院の主な構成

市立釧路総合病院の基本設計に当たっては、基本計画において定めた施設整備方針を基に進めてきました。

【新棟】

1階 総合受付の他、相談・説明等の機能を集約した患者総合支援センター(仮)を配置します。また、救命救急センターを配置し、24時間体制で重症救急患者へ質の高い救急医療の提供を目指します。

2階 来院された方に分かりやすいよう、外来部門をワンフロアに集約します。なお、高齢の方や身体が不自由な方の移動に配慮し、エレベーターやエスカレーターを設置します。

3階 高度急性期医療を充実させるためのハイブリッド手術室(※2)を設置する他、救命救急病床(EICU)と院内高度治療病床(HCU)の機能を分化して配置します。

4階 入院、外来ともに関連のある人工透析室やリハビリテーション等を配置します。

5階以上 病棟部門とし、新たに緩和ケア病棟を配置します。

【管理棟(現ヘリポート棟)】

管理棟には、利用される方の快適な環境づくりのため、売店やレストラン、ラウンジ等を配置します。なお、2階部分に新棟との連絡通路を設置します。

詳細は、市立釧路総合病院ホームページ(☎http://www.kushiro-cghp.jp/bumon/jimukyoku/sintou.html#a2_0)をご覧ください。

今後も、地方センター病院として担うべき役割と機能強化を最優先し、北海道が策定する地域医療構想や将来の医療需要を見据えた無駄のない整備を心掛け、新棟建設に向けて取り組んでいきます。

※2 高性能なX線診断装置と手術台を設置し、外科的手術と内科治療法を組み合わせた治療法が実施可能な手術室。
※外観イメージ等は、平成28年9月30日現在のものであり、今後の実施設計により変更となる場合があります。

1 新病院の役割・重点機能

- 救急医療
- 災害医療
- 周産期・小児医療
- がん医療
- 高度医療・チーム医療
- 患者サービス

2 事業費

建設工事関係費……約208億円
医療機器関係費……約46億円

3 事業スケジュール(予定)

実施設計……平成28・29年度
新棟建設工事…平成30~32年度
新棟稼働……平成33年度

4 新病院概要

新棟規模	地下1階/地上10階(基礎免震構造)	
延床面積	全体	約60,000㎡
	・新棟	約37,000㎡
	・既存棟	約19,000㎡
病床数	・立体駐車場等 約4,000㎡	
	総病床数	600床
	・新棟	506床
	・精神科棟(既存)	94床